



「農業・JAバンク」の地位向上と 組織強化を実現するために

湘南農業協同組合

代表理事組合長 布施喜英

組合員・利用者の皆さまへ

皆さまには、日頃からJA湘南をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

この度、JAの事業・経営及び活動状況等に対する一層のご理解をいただくため、信用事業を中心にできるだけわかりやすく取りまとめました「2010 DISCLOSURE・JA湘南」（ディスクロージャー誌）を作成いたしました。皆さまには、この冊子により当JAへのご理解をより一層深めていただければ幸いに存じます。

経済・金融・農業情勢

昨年来の世界的な経済・金融環境の悪化に伴い消費が低迷するなど、わが国経済は急激に落ち込みましたが大規模な財政出動を行った結果、雇用の回復が遅れているものの景気は下げ止まり、輸出を牽引役として緩やかな回復基調を辿っております。

一方、金融政策面においては、政府のデフレ宣言により日銀が市場への資金供給を潤沢にしていることに加えて、欧州債務危機に伴う信用不安などから円高ユーロ安が進みましたが、日銀の金融政策は現在までのところ低位で推移しております。

農業情勢につきましては、農業者個別所得補償制度の導入が実施されるほか、WTO農業交渉においては、経済連携協定（EPA）や自由貿易協定（FTA）などの検討が進められており、先行き不透明な状況であります。引き続き阻止に向け取り組む必要があります。また、相変わらずの生産資材価格の高止まりに加え、異常気象による農産物出荷への影響など、農業経営にとりましては厳しい状況が続いております。

当JAの基本姿勢・取り組み

当JAは、第7次3ヶ年プランを策定し、本年度から「信頼」「貢献」「確立」を基本姿勢とした事業運営に取り組んでまいります。地域農業振興計画では、販売事業計画や作物別専門部会振興計画を策定し、安全・安心な農畜産物の提供など地域農業戦略の体制を確立するとともに、生産者と消費者の連携を深め、農業の発展を目指してまいります。事業別（協同活動）計画では、地域社会の核となる事業別戦略活動を展開し、組合員・地域住民の期待に応えうるJAとして地域社会に貢献してまいります。

JAグループの取り組み

JAバンクでは、同バンクシステムの十分な信頼性を確保する観点から、毎年見直しを行っております。平成22年3月期においては、これまでの取り組みにより経営不振JAやレベル各付JA等が相当程度解消されてきたことから、基本方針全体を分かりやすく再整理したほか、JA健全化指導について、実効性向上に向けて中央会系統と実質的に統一した基準に再整理する等、「JAバンク基本方針」等の大幅な見直しが行われました。また、JAグループ神奈川では、昨年11月の第62回県農協大会において、今後3ヶ年の基本方針として「大転換期における農業の復権と組織・JA経営の強化」に取り組んでいくことが確認され、当JAも取り組みを進めております。

最後に

地域の皆さまと都市農業の地位向上・発展に寄与するとともに、「JAバンク基本方針」を遵守し、組合員が参画する協同組合としての組織・事業基盤づくりを進め、経営の透明性・健全性・信頼性の更なる向上を目指し、組合員・利用者の皆さまからのお一層信頼されるJAづくりに邁進する所存であります。

今後とも、より一層のご理解とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月